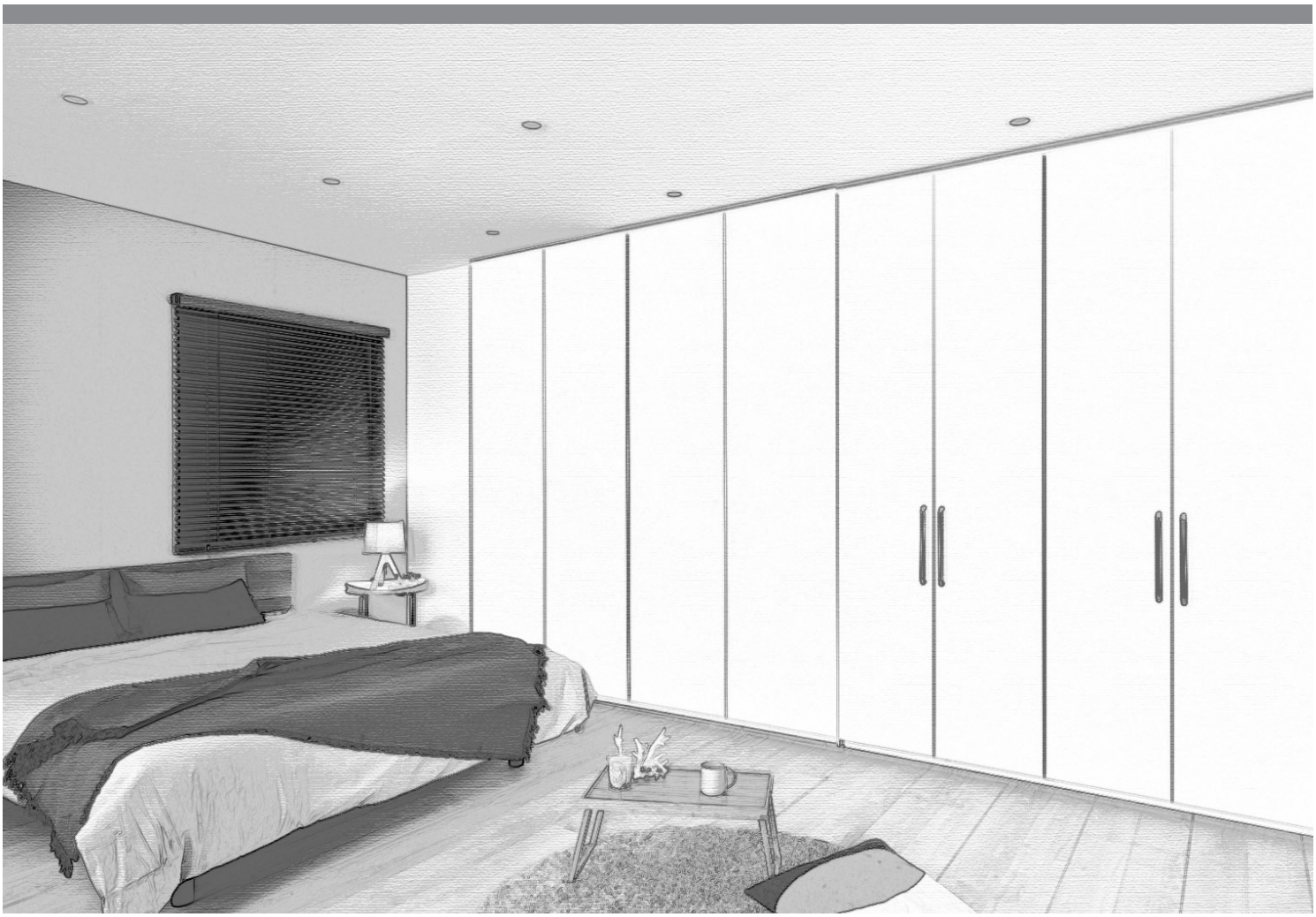
可動間仕切収納

セフィット

可動間仕切収納 スタンダードタイプ

取扱説明書

施工完了後この取扱説明書と施工説明書を
必ずお客様にお渡しください



この度は、セフィット「可動間仕切収納」を
ご採用いただきまして誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、みなさまに本商品を正しく、
そして末永くご愛用いただくために
知っておいていただきたいことを説明しています。

ご使用前に必ずお読みください。

1. 安全上のご注意 2

2. 使用上のご注意 3

3. 商品について 4

各部のなまえ
カスタムパーツの移動と追加

4. 収納ユニットの移動方法 8

5. ユーザーサポート 12

商品の保証
改正建築基準法（シックハウス対策）への
対応に関する表示

ce-fit

1．安全上のご注意　必ずお守りください

■ 本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ず知っておいていただきたい項目です。

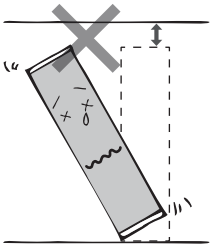
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

⃠	してはいけない「禁止」を示しています。
❗	必ず実行していただく「指示」を示しています。

⚠ 注意

収納ユニットは天井に突っ張って固定してください

この商品は天井に突っ張って固定する商品です。天井と突っ張れない場所に設置した場合、転倒の恐れがあります。
万一、天井に突っ張らずに設置して転倒事故が発生した場合、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。



本体の中に入ったり ハンガーパイプにぶら下がったりしないでください

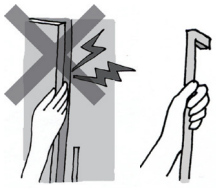
本体の破損やハンガーパイプの変形によりパイプが落下し、ケガをする恐れがあります。
特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

重量物を収納しないでください

この商品の最大収納量の目安は棚板1枚あたり20kgです。それ以上収納すると、棚板が外れたり破損したりする恐れがあります。
収納物はなるべく一ヶ所にまとめず、棚板に均等になるよう収納してください。

扉の開閉は取手を持って行ってください スキマなどに指や手を入れないでください

扉を持って閉めたり、扉のスキマなどに指を入れたまま扉を開けると、指をはさむなどのケガをする恐れがあります。



扉や取手などにぶら下がったり 収納ユニットにぶつかったりしないでください

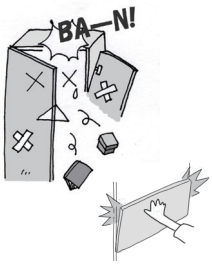
収納物の落下や取手脱落によるケガの恐れがあります。
特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

フラップカウンターに乗ったり 重量物をのせたりしないでください

フラップカウンターの耐荷重は10kgです。それ以上乗せると本体が破損したり、変形により、ケガをする恐れがあります。
特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

扉や引出し、フラップカウンターの開閉は 静かにゆっくり行ってください

強い力をかけすぎると、扉や引出し、フラップカウンターの破損や脱落が起こり、ケガをする恐れがあります。引出しの出し入れは前板部を手で持ち静かにゆっくりと行ってください。



袖壁パネルにぶつかったり 強い力で押したりしないでください

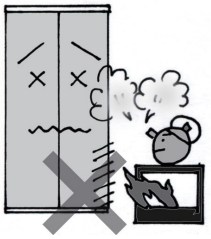
壁パネルが破損したり、壁パネルがパネル受けから外れ転倒してケガをする恐れがあります。
特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

2．使用上のご注意　必ずお読みください

⚠ 注意

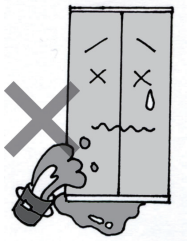
ストーブなどの熱源を近づけないでください また、直接温風があたらないようにしてください

ストーブなどの暖房器具や高熱を発する照明器具を近付けすぎた場合、扉の変形・変色の恐れがあります。



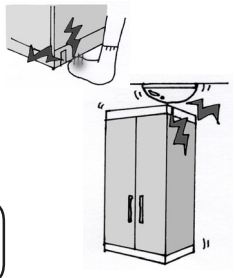
水濡れしないようご注意ください

水に濡れると変質する恐れがあります。
水がかかったりこぼれたりした場合はすみやかに拭き取ってください。



収納ユニットの移動は慎重に行ってください

移動の際、手や足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
また、収納ユニットと照明器具、感知器や、エアコン・カーテンレールなどがぶつからないよう注意しながら移動してください。

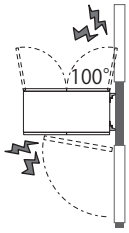


事故防止のため作業は2名以上で行ってください

収納本体の設置場所周辺に注意してください

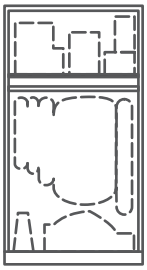
収納本体設置場所を決める際は、設置・移動した場所で、建具の開閉や収納扉の開閉に支障がないかどうか周辺をよく確認してください。

※ 収納扉は100°開きです。
取手や扉が壁や窓、ドア枠に当たると、キズや破損の恐れがあります。支障がある場合は戸当たりなどを取り付け、直接当たらないようにしてください。



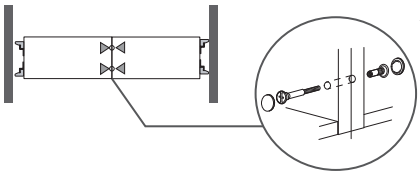
移動時は収納物をすべて取り出してください

ジャッキアップキャスターの故障、床面へのキズやへこみの原因となります。
必ず空の状態で作業を行ってください。



収納ユニットの移動の際 必ず本体連結金具を外してください

連結したままジャッキアップハンドルを回してユニットを昇降させると、本体の破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。
本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。

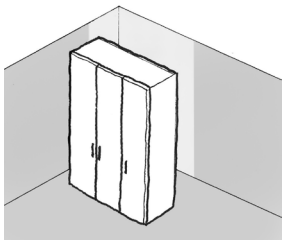


部品の保管をお願いします

本体の組み立て方により、部品があまる場合があります。
次に使用されるまで大切に保管してください。

色違いにご留意ください。

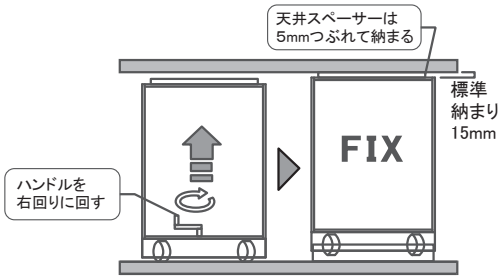
数年後に収納を移動する際、周囲の床板、壁、クロスなどが日焼けして設置していた場所との色違いが生じることがあります。
移動の際は、十分ご考慮ください。



収納ユニットの固定の際、特にご注意ください

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井の間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまで回すと正しくしっかり突っ張った固定状態となるよう設計されています。止まるところまで回してください。

※ 住宅の経年変化で天井の高さにバラツキが出ることがあります。
その際、ハンドルを最後まで回すと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります。ゆっくり確認しながらハンドル操作を行い、天井を押し上げないようご注意ください。



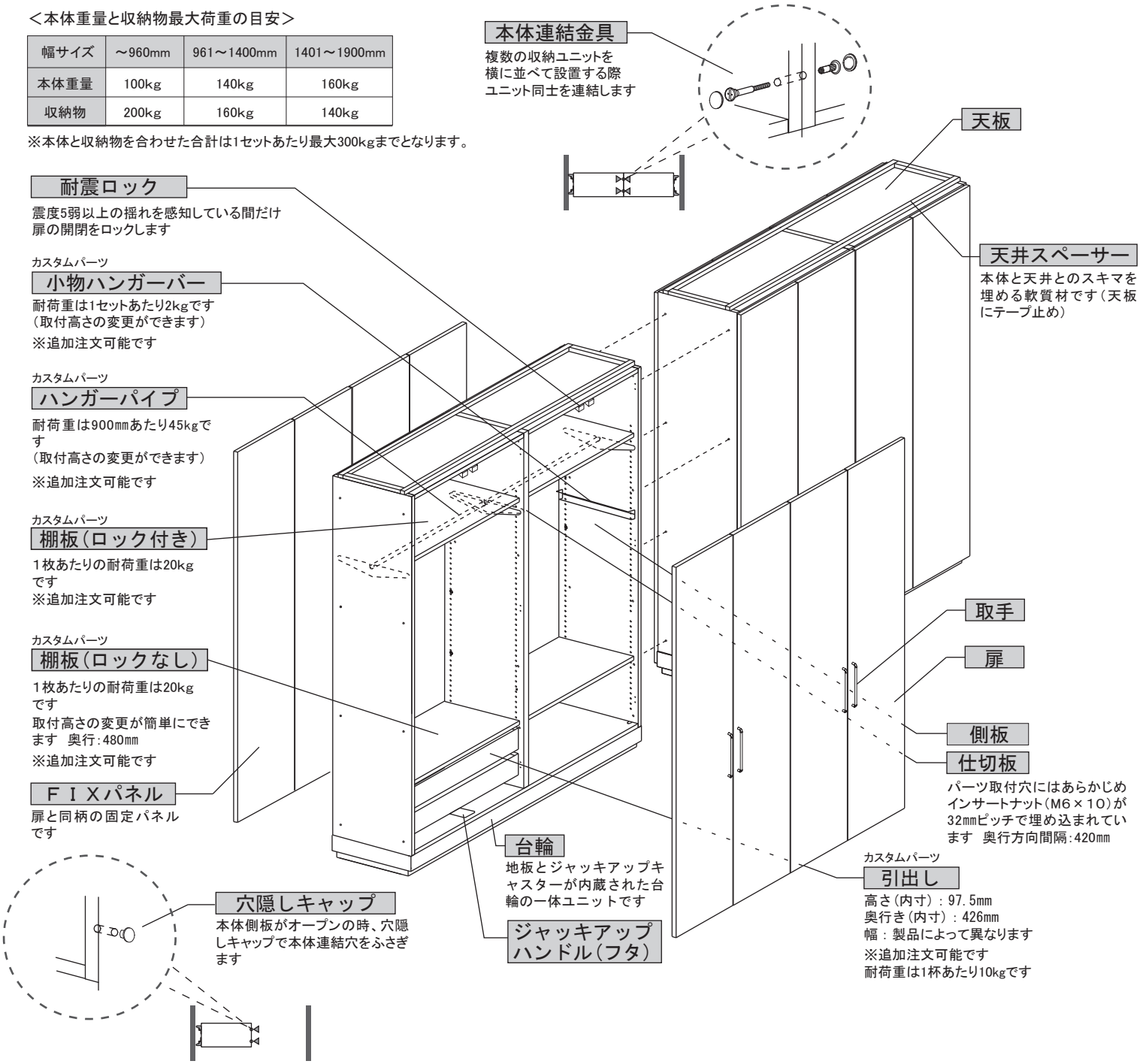
3．商品について

スタンダードタイプ　※この製品図は代表的なものです。お客様のご使用になるものとは異なる場合があります。

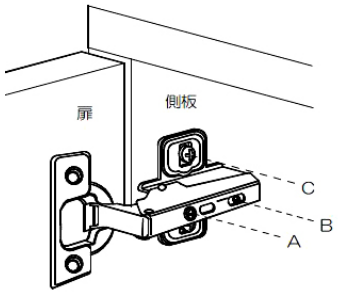
＜本体重量と収納物最大荷重の目安＞

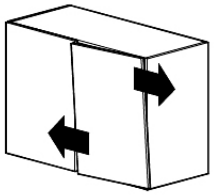
幅サイズ	～960mm	961～1400mm	1401～1900mm
本体重量	100kg	140kg	160kg
収納物	200kg	160kg	140kg

※本体と収納物を合わせた合計は1セットあたり最大300kgまでとなります。



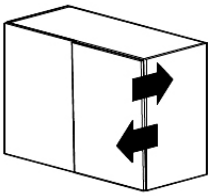
【スライド丁番の調整】





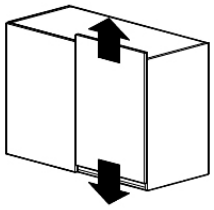
丁番のＡネジを回すことで扉の左右のズレを修正できます。

調整代：＋１㎜，　－３㎜



丁番のＢネジを回すことで扉の前後のズレを修正できます。

調整代：＋３㎜，　－２㎜



丁番のＣネジを回すことで扉の上下のズレを修正できます。

調整代：＋２㎜，　－２㎜

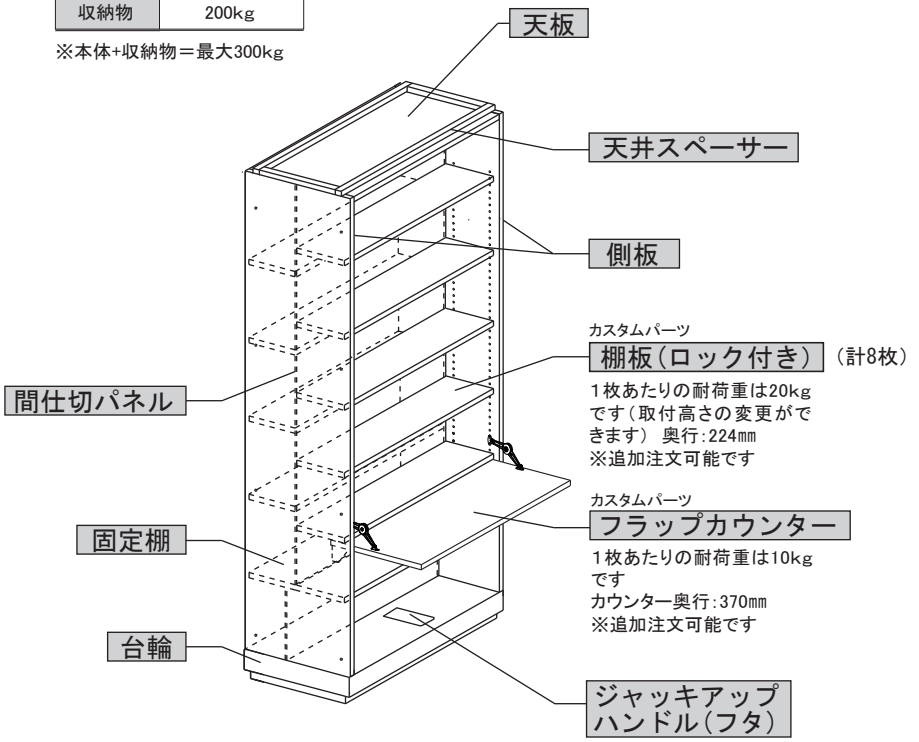
3．商品について

ダブルシェルフ

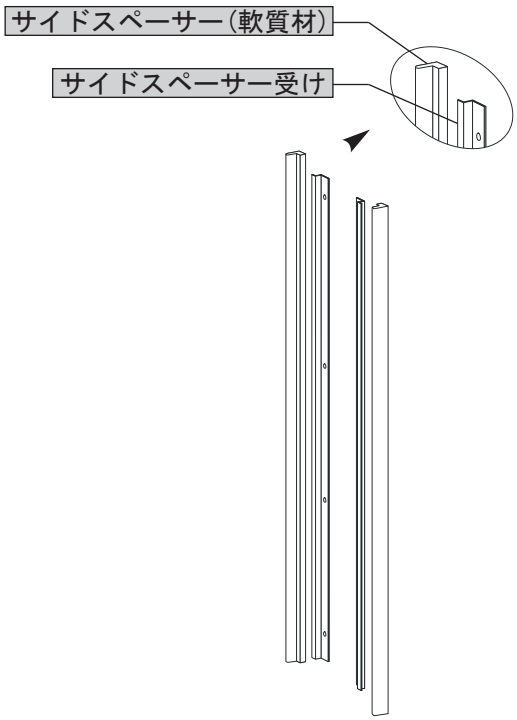
＜本体重量と収納物最大荷重の目安＞

幅サイズ	～960mm
本体重量	100kg
収納物	200kg

※本体+収納物＝最大300kg

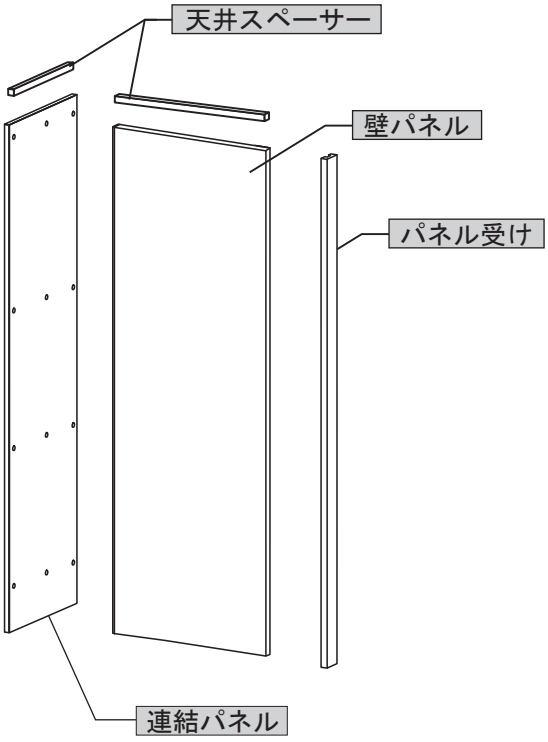


サイドスペーサー



収納ユニット側面と壁とのスキマを埋める軟質材です（側板に固定した受け材に押し込みます）
※追加注文可能です

袖壁パネル



お手入れ方法について

表面が汚れたときは、家庭用中性洗剤を薄めた水にひたした柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いて、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。化学ぞうきんをお使いの際は、ぞうきんの注意書きに従ってください。

静電気による汚れは、耐電防止剤入りのOAクリーナー等で拭き取ると、キレイな状態が長持ちします。シンナー・ベンジン等を使用した場合、変色やクラックの原因となります。決して使用しないでください。

不具合箇所は無理に直さずご相談ください

可動部のガタツキ、異音がする等不具合箇所がある場合は、ご相談ください。無理に直そうとした場合、落下や破損によりケガをする恐れがあります。

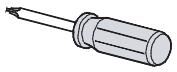
カスタムパーツの移動と追加

⚠ 注意

■カスタムパーツを取り外す際はパーツの落下等にご注意ください。

■各取付ビスや締付金具は手回しのドライバーで根元までしっかり締め付けてください。締め付けが不十分な場合、収納物の損害や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

作業にはドライバーが必要です。



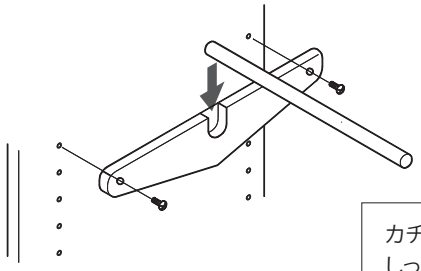
【ハンガーパイプ】

① ハンガーパイプの外し方

パイプを両手で持ち、まっすぐ上へ押し上げて外します。
パイプ受け取付ビスを外し、パイプ受けを外します。
※パイプを外す際、固い場合はありますが力を入れて押し上げてください。

② ハンガーパイプの取り付け方

お好みの高さのパーツ固定穴にパイプ受けを取り付けます。
パイプ受けの上方からパイプを下方向に下ろしながら、溝にパイプをはめ込みます。



カチッと音がして
しっかりはまったことを
確かめてください。

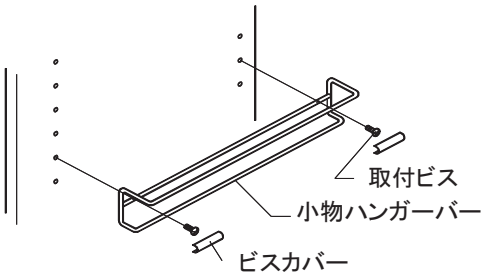
【小物ハンガーバー】

① 小物ハンガーバーの外し方

ビスカバーを外し、取付ビスを外します。

② 小物ハンガーバーの取り付け方

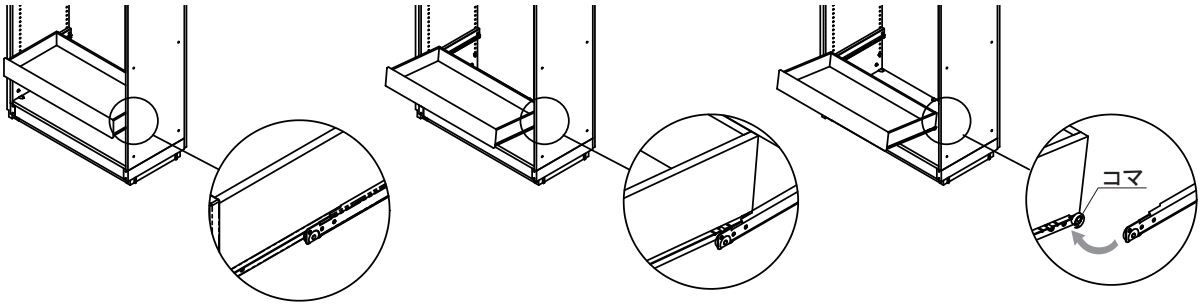
お好みの高さのパーツ固定穴に小物ハンガーバーを固定ビスで取り付け、ビスカバーを取り付けます。



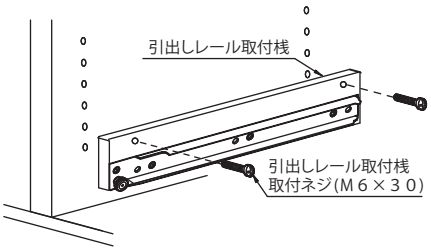
【引出し】

① 引出しの外し方

引出しを手前に出し切り、コマを逃がすように斜めに持ち上げながら抜き出します。



取付ネジを外して引き出しレール取付桟を取り外します。



② 引出しの取り付け方

①の外し方の逆の要領で取り付けてください。

3．商品について

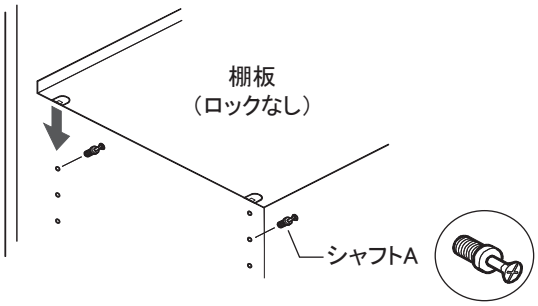
【棚板（ロックなし）】

① 棚板の外し方

棚板を上方向にまっすぐ押し上げて棚板を外します。

② 棚板の取り付け方

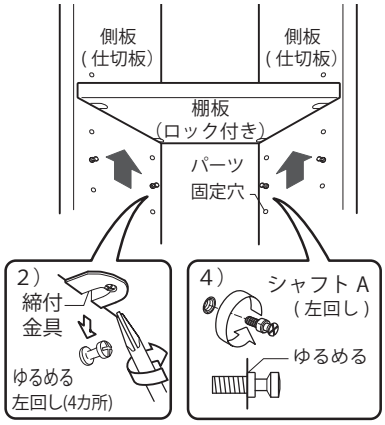
お好みの高さのパーツ固定穴にシャフトAをドライバーで
締め付けます。
シャフトの上方から棚板を差し込みまっすぐ下ろします。



【棚板（ロック付き）】

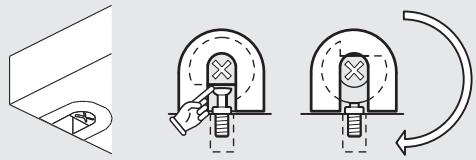
① 取り外し方法

1）カバーをはずす
2）棚板裏面の締め付け金具で、側板に取り付けたシャフト A の頭部を締めつけて固定しています。
3）⊕ドライバーで締め付け金具を緩めることで、棚板を取り外すことができます。
4）上方向にまっすぐ棚板を押し上げて棚板を外します。
5）シャフト A をドライバーでゆるめて外します。



Point

締め付け金具は内部に金属の円盤が入っており、締め付けを緩めると、円盤の切り欠きがシャフトが出入りする U 字部の開口部と平行になっているときが外れる状態です。



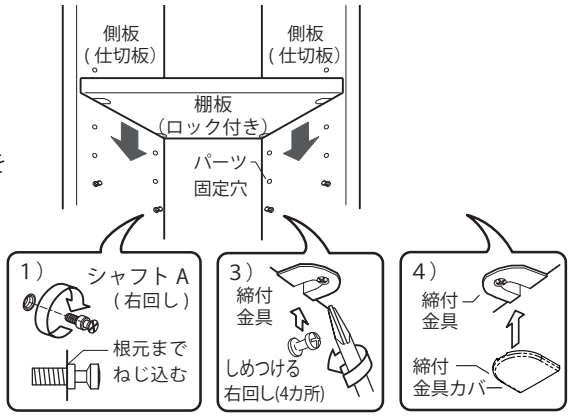
側板に平行な状態で外れます　ゆるんだ状態（棚板が外れる）　締め付けた状態

⚠注意

※ 外れにくい場合は、締め付け金具内部金属円盤の向きをご確認ください。
※ 緩めすぎて外れにくくなる場合がございます。
※ どうしても外れない場合、ドライバーが回らない場合は無理せず弊社までご相談ください。

② 取り付け方法

1）お好みの高さのパーツ固定穴にシャフト A をドライバーで締め付けます。
2）シャフト A の上方から棚板を差し込みまっすぐ下ろします。
3）棚板裏面の締付金具にシャフト A がしっかり差し込まれたことを確認した後、締付金具をドライバーで締め付けて固定します。
4）締付金具カバーを取り付けてください。



⚠注意

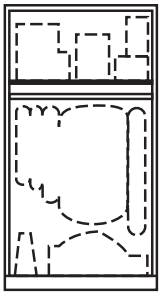
※ 金具の締め付けが不十分な場合、収納物の損害、棚板の落下によるケガの恐れがあり、大変危険です。

4．収納ユニットの移動方法

移動前の準備

① 収納物をすべて取り出します

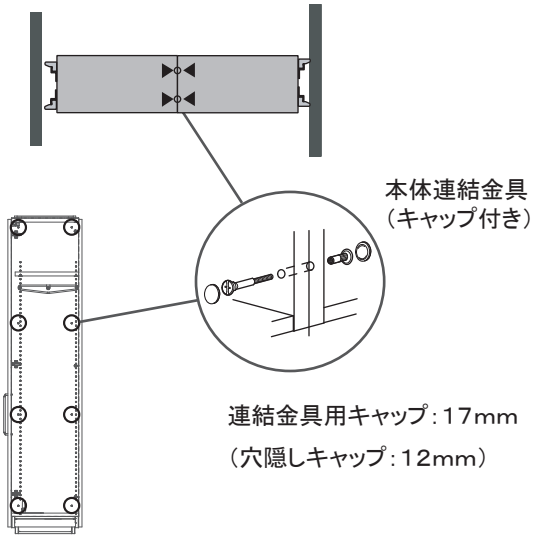
ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、[必ず空の状態で作業を行ってください。]



② 本体が連結されている場合、連結金具を外します

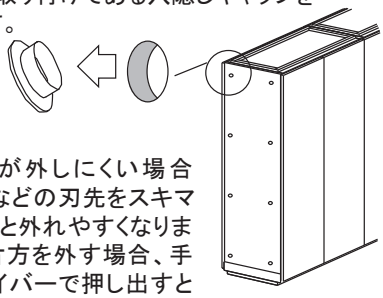
収納ユニットの移動の際
必ず本体連結金具を外してください

連結したままジャッキアップハンドルを回してユニットを昇降させると、本体の破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうかかならずご確認ください。
本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。
※連結は片側8ヶ所です。



③ 収納ユニットに取り付けられている配置用部品を取り外します

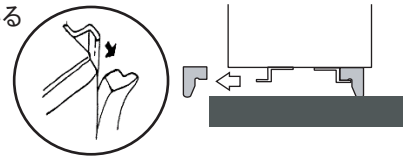
側板横穴に取り付けてある穴隠しキャップを取り外します。



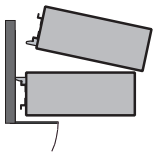
※キャップが外しにくい場合は、ヘラなどの刃先をスキマに入れると外れやすくなります。もう片方を外す場合、手回しドライバーで押し出すと簡単に外すことができます

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。

※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

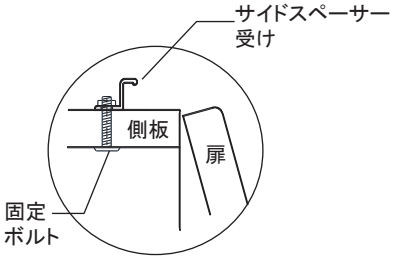


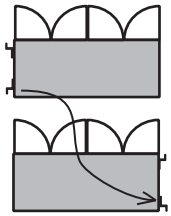
手の届かない内側にあるサイドスペーサーは、②でユニットを少し動かして壁から離した状態で取り外します。



④ サイドスペーサー受けの取付位置を変更します

移動先で壁に寄せるほうの側板にサイドスペーサー受けを取り付けます。





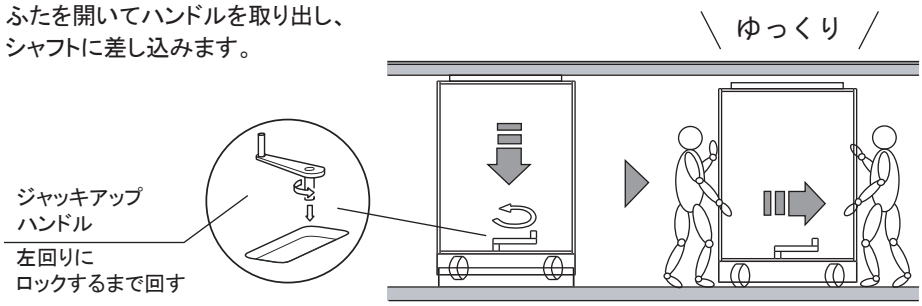
※袖壁納まりの場合は、P11 ⑧-4をご参照ください。

4．収納ユニットの移動方法

収納ユニットの移動

⑤　収納ユニットを動かせる状態にします

ジャッキアップハンドル収納部の
ふたを開いてハンドルを取り出し、
シャフトに差し込みます。

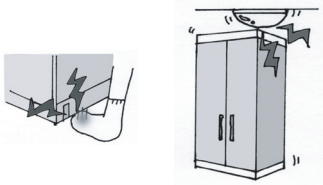


ハンドルを[左回りに回す]と、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため
作業は2名以上で
行ってください

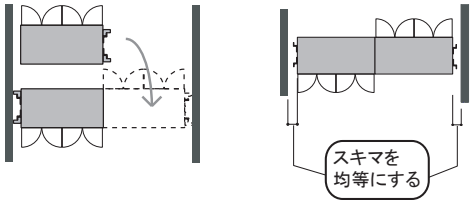
⚠ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。



⑥　収納ユニットを移動します

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが
左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36mm）



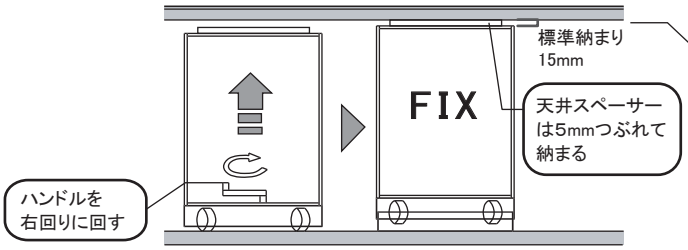
※ サイドスペーサーをゲージ代わりに
仮で取り付けると、均等に位置出し
しやすくなります

※袖壁納まりの場合は、P11 ⑧-4をご参照ください。

収納ユニットの固定

⑦　収納ユニットを固定します

ジャッキアップハンドルを
[右回りに回す]と、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、
キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまでまわしてください。



⚠ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。
その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

⑧　配置用部品を取り付けます

次ページを参考に配置用部品を取り付けてください。

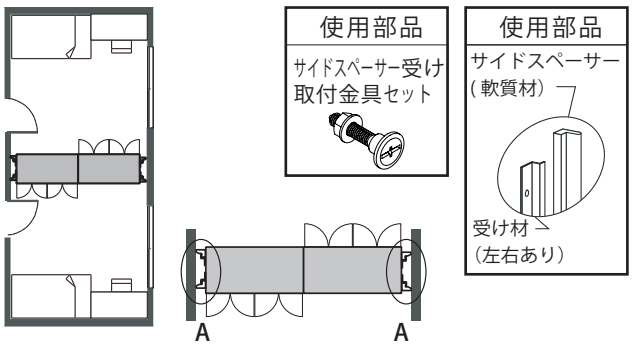
設置が完了したら、ジャッキアップハンドルとふたを元に戻してください。

取り外して使用しなかった部品やこの説明書は、次に収納ユニットを移動するまで大切に保管してください。

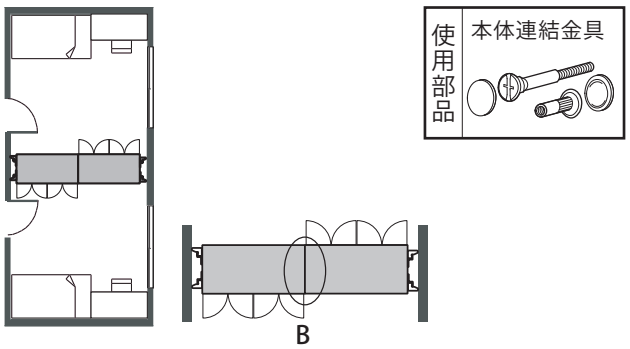
4．収納ユニットの移動方法

◆ 配置用部品の取り付け

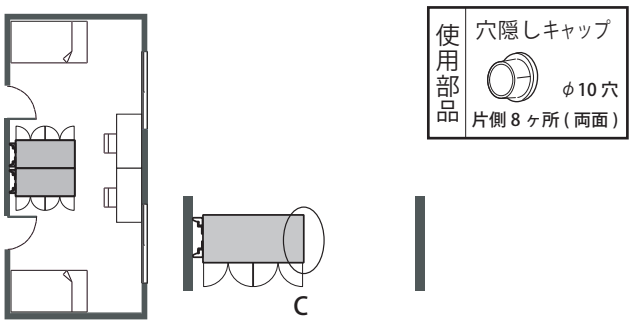
◎ A部：側面を壁にぴったり寄せる



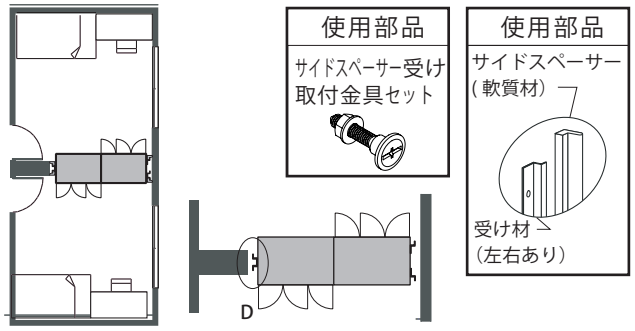
◎ B部：本体同士を連結する



◎ C部：側面オープン使い



◎ D部：袖壁・廻り縁に寄せる



A部がある納まりの場合

⑧-1 サイドスペーサーを取り付ける

1）壁面側に来る側板の貫通穴にサイドスペーサー受けを固定します。
サイドスペーサー受けには、上下左右がありますで、ご注意ください。

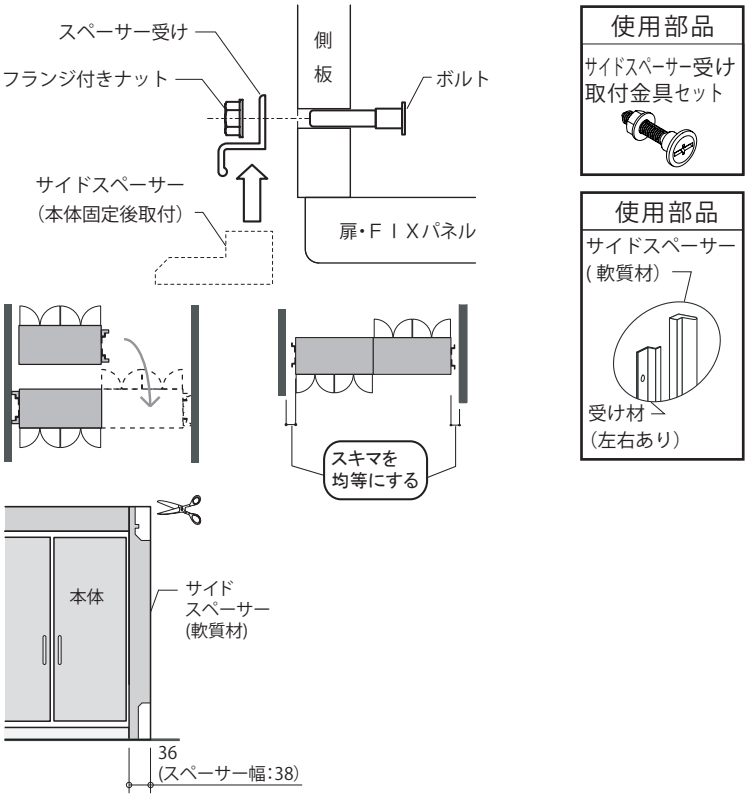
※サイドスペーサーセットはオプションです。

2）収納ユニットを配置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36mm）

サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、位置出ししやすくなります。

3）壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、寸法・形状を調整します。

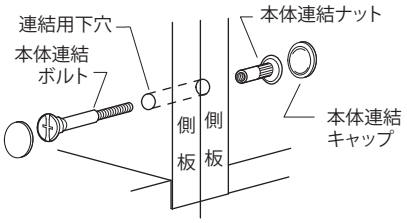
幅木・廻縁の形状に合わせてカットすると、ぴったり納まります。



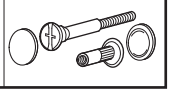
4．収納ユニットの移動方法

B部がある納まりの場合
⑧-2 本体同士を連結する

収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合は
本体連結金具で収納ユニット同士を連結します。



使用部品　本体連結金具

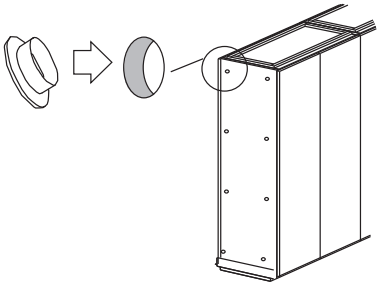


連結したまま収納ユニットを昇降させると、**本体が破損する原因**となります。必ず連結金具を外してください。

⚠注意
動かす時
外す

C部がある納まりの場合
⑧-3 穴隠しキャップを取り付ける

本体側面がオープンのとき、
穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます。

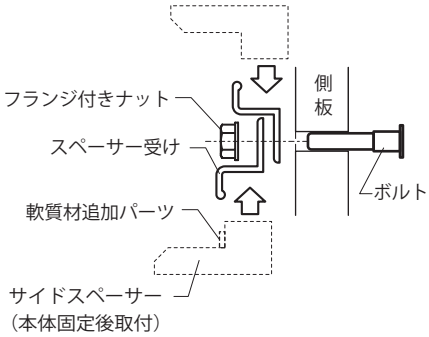


使用部品　穴隠しキャップ

φ10穴
片側8ヶ所（両面）

D部がある納まりの場合
⑧-4 サイドスペーサー受けを取り付ける

1）袖壁側に来る側板の本体連結穴にサイドスペーサー受けを
2本重ねて固定します。
サイドスペーサー受けには上下左右があります。
穴の位置を合わせて取り付けてください。



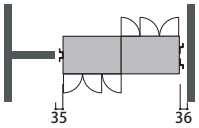
使用部品
サイドスペーサー受け
取付金具セット

使用部品
サイドスペーサー
（軟質材）

受け材
（左右あり）

2）収納ユニットを配置場所へ移動し、
壁と収納ユニット側板とのスキマ幅が、袖壁側が35mm、
壁面側が36mmになるように並べます。

サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、
位置出ししやすくなります。

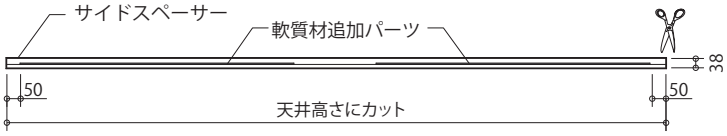


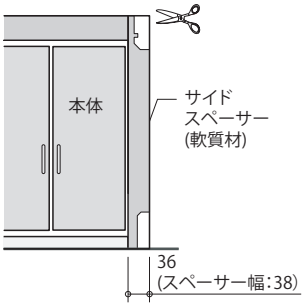
3）壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、
寸法・形状を調整します。

幅木・廻縁の形状に合わせてカットすると、
ぴったり納まります。

※軟質材追加パーツをサイドスペーサーに
貼り付けてからサイドスペーサー受けに
押し込んで隙間をふさいでください。

【軟質材追加パーツ取付位置】





５．ユーザーサポート

《商品の保証》

商品は厳密な検査に合格してお届けしております。
施工説明書に従って正しい施工が行われ、取扱説明書、本体注意表示等に従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合は、お引き渡し日より２年間、以下の保証規定により無料で修理を行うことをお約束します。

【無料修理規定】

１．施工説明書、取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は無料で修理いたします。
２．保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
（１）取扱上の不注意、誤用による故障及び損傷
（２）移動時の衝撃等による故障及び損傷
（３）商品を購入された施工店または弊社以外による修理、改造等による故障及び損傷
（４）商品以外の住宅の構造体、構成部材及び地盤のゆがみ等による故障及び損傷
（５）火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、治安の混乱等による故障及び損傷
（６）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
３．消耗品類は本保証規定による保証の対象とはなりません。
４．商品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
５．本規定は、日本国内においてのみ有効です。

改正建築基準法（シックハウス対策）への対応に関する表示

住宅部品表示ガイドラインによる表示

F☆☆☆☆

※ お問い合わせ、詳細資料提出等は
下記の窓口で承ります。

＜内装仕上部分＞

ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
ＭＤＦ	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

＜下地部分＞

ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
ＭＤＦ	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
集成材	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

GROUP AXIS アクシス株式会社

0120-348-225
（受付 9:00～18:00 (休)日・祝）

E-mail：order@ce-fit.com

https://www.ce-fit.com
または キーワード セフィット で 検索

20210701